

「二重行政」解消で

4000億円浮くって

ホンマ？

「二重行政のムダ解消で年間4000億円が浮く」と維新は宣伝しますが、根拠はどこにもありません。

2013年夏の法定協議会に出された資料には「700億円」と大幅減少。この金額も「地下鉄民営化」「幼稚園の民営化」など「二重行政」と関係ないものを含めた粉飾でした。

法定協議会などでは「せいぜい1億円」などの指摘が相次ぎ、橋下市長は「財政効果なんて意味がない」と言ってしまうです。

2重行政
無くせば
4000億円浮く



ウンやん
1億円しか
あかん!

吹いたのは
勝つもんは
あつせん

「大阪都」とは呼べない「大阪都」構想

「大阪都」という言い方は、法律にも「協定書」にもありません。「住民投票」で決まるのは「大阪市廃止・分割」です。

「都構想」ストップ!



近代都市大阪の基礎をつくったと言われる関一市長。「住み心地よき都市」を目標に置いたと言われます。産業基盤となる港湾や道路、市電・地下鉄などを建設。上下水道、公園、保育所などの生活基盤、中之島・大阪城の景観をつくり、日本の都市政策をリードしました。その大阪市を解体・廃止し、財源・権限を府に吸い上げる

—「大阪都」をつくると維新は言います。

私たちは、大阪が好きです。この間、東京の物まね、大型開発優先という間違った政策が行われたことがあります。それでも、私たちは、大阪市をなくすことには反対です。大阪市の大きな権限・財源を若者も高齢者も安心して住み、働ける大阪づくりに使い、大阪をよくするために奮闘します。

